

ルクセンブルク経済・金融情勢（2014年4月前半）

1. 経済

- 2013年のルクセンブルクの経常収支は23億6100万ユーロの黒字で、前年比▲137百万ユーロ。（3日付中央銀行プレスリリース）
- 放送・通信サービス企業アルティス社（本社当国）、仏メディア通信企業ビベンティ傘下の携帯電話子会社SFRを約135億ユーロで買収。アルティス社傘下にあるニューメリカーブル社とSFR社が合併し、合併後に成立する会社の株式の20%をビベンティ社に付与する。（7日付ペーパージャム誌電子版）
- 2014年3月のインフレ率は年率0.8%（前月は0.9%）。（9日付統計局プレスリリース）
- 2013年第4四半期の経済成長率は前年同期比+2.4%、前期比+0.7%。また、2013年全体の経済成長率は+2.1%。（9日付統計局プレスリリース）
- IMFが8日に発表した世界経済見通しによると、ルクセンブルクの経済成長率は2014年2.1%、2015年1.9%の予測。（9日付ヴォルト紙電子版）
- カーゴルクス社、ルクセンブルクー鄭州間の定期便を4月24日より運航する旨10日に発表。鄭州は河南省の省都で、カーゴルクス社株式の35%を保有する予定である河南民航発展投資（HNCA）が所在する。将来的には少なくとも週4便が運航される予定。（11日付ル・コティディアン紙）
- 2014年1月1日時点のルクセンブルクの人口は549,680名で、1年間で12,641名増加。増加分の80%以上は移民の増加によるもので、人口に対する外国人の割合は45.3%へと増加した。（15日付統計局プレスリリース）

2. 金融

- BGL BNPパリバ、2013年の連結純利益は336.9百万ユーロで、前年比+26%。（4日付ペーパージャム誌電子版）
- 通常の金融商品の利用が制限されている低所得者層に、金融アクセスを拡大するための包括的金融（Inclusive Finance）をルクセンブルクで発展させることを目的とした団体であるInFiNeが設立。当国金融セクターの公的機関、職業団体、民間企業等が参加している。（9日付銀行協会プレスリリース）
- ロシア・キプロス系銀行であるロシア商業銀行（RCB）、ルクセンブルクに支店を開設。（11日付ペーパージャム誌電子版）

3. 政府

- グラメーニャ財務相、アテネ開催のユーログループ（1日）及びEU財務相会合（2日）に出席。（3月31日付財務省コミュニケ）
- グラメーニャ財務相、9日から10日にかけてニューヨークを訪問。ルクセンブルク貿易投資事務所主催のイベントに出席し、金融セクター関係者との対談を行った。（11日付財務省コミュニケ）
- グラメーニャ財務相、11日及び12日にワシントン開催のIMF・世銀総会に出席。12日にはラガルドIMF専務理事と会談し、ルクセンブルクからIMFへの20.6億ユーロを上限とする融資取極に署名。（10日付および14日財務省コミュニケ）
- ベテル首相、バルニエ欧州委員（域内市場・サービス担当）と14日にルクセンブルクで会談。（14日付政府公報）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。